

平成23年度
三重県自主防災組織実態調査
結果報告書

三重県防災危機管理部
三重大学自然災害対策室
平成24年3月

目次

・調査概要

1 調査の目的.....	1
2 調査の内容.....	1
3 調査結果の概要.....	2

・集計グラフ

三重県（全件）.....	3
--------------	---

・クロス集計

クロス集計：1) 自主防災組織の構成.....	6
クロス集計：2) 自主防災リーダーの選出方法.....	10
クロス集計：3) 自主防災リーダーの任期.....	14
クロス集計：4) 自主防災活動への地域住民の参加状況.....	18
クロス集計：5) 地域特性.....	22

・参考資料

参考) アンケート調査票・設問一覧.....	27
------------------------	----

1 調査の目的

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、強い揺れや大きな津波によって甚大な被害がもたらされ、これまでの地震防災対策を抜本的に見直す必要性に迫られました。

三重県においては、東海・東南海・南海地震の発生による大きな被害が想定されることから、東日本大震災の教訓を踏まえ、これまで取り組んできた様々な防災対策の検証・見直しを行うこととしました。

地域防災力の向上に重要な役割を担う自主防災組織についても、活動の実態とその問題点を把握することで、緊急地震対策行動計画「行動 1 避難計画・避難計画」に基づく地域における避難訓練の実施や「行動 8 防災教育と人材育成」における人材の育成などについて、より効果的な事業を実施するため、県内の全自主防災組織を対象に調査を行いました。

2 調査の内容

三重県内の全自主防災組織に対し、郵送もしくは市町を通じて、各自主防災組織の代表者あてに調査票を送付する方法により実施しました。

- 調査対象：3, 669 組織
- 回収率：64%（2, 363 組織 / 3, 669 組織）
- 調査時期：平成 23 年 8 月～11 月
- 調査項目：「名称・活動地区」「組織構成」「活動状況」「資機材」「その他」の全 13 問を設定

3 調査結果の概要

- 自主防災組織の構成
「自治会やマンションの管理組合と同じ組織」又は「自治会やマンション等の中に、独自の自主防災活動部門がある」組織が 70.6% となっており、自治会との関連性が強いことがわかります。
- 自主防災リーダーの選出方法・任期
選出方法は「自治会の役員が兼任する」が 82.8% と多く、また任期は、「1 年以上 2 年未満」又は「2 年以上 3 年未満」が 59.0% となっています。
- 自主防災組織の活動状況
「とても活発に活動している」又は「一応の活動はしている」組織が 69.6% ありますが、「ほとんど活動していない」も 30.4% あります。
- 訓練の実施内容
実施している訓練は、「消火・放水訓練」「避難訓練」「応急救護訓練」な

ど比較的取り組みやすい訓練が多く、「夜間訓練」「介護が必要な人の介助訓練」「図上訓練」など、やや高度な内容の訓練を実施している組織はあまり多くない結果となっています。

○防災活動への地域住民の参加状況

「ほとんどの住民が参加している」組織は13.2%、「住民の半分程度が参加している」組織は16.8%に留まっています。

○クロス集計

①自主防災リーダーの選出方法による特徴

「自治会役員とは別の人を選任する」組織は、「自治会役員が兼任する」組織に比べ、活動が活発な傾向となっています。

②自主防災リーダーの任期による特徴

リーダーの任期が長い組織ほど、活動が活発な傾向となっています。

③地域特性による特徴

「熊野灘沿岸市町」「伊勢湾沿岸市町」「内陸市町」の3種類に分類したところ、「熊野灘沿岸市町」には次のような特徴がありました。

- ・自治会役員とは別の人を自主防災リーダーに選任する割合が高い。
- ・ほとんど活動していない組織の割合が低い。
- ・避難訓練を実施している組織の割合が高い。
- ・自主防災組織が主体となって訓練を実施している組織の割合が高い。